



二俣川小だより

2月号

横浜市立二俣川小学校 令和3年1月26日
校長 泉 太郎



「福は内、新型コロナウイルスは外！」

校長 泉 太郎



令和3年も早1か月を終えようとしています。この間、残念ながら神奈川県に二度目の緊急事態宣言が発令されました。前回のように学校に休校措置がとられることはなく、子どもたちの日々の活動は保障されることとなり安心しました。しかし、6年生が楽しみにしていた日光修学旅行を中止せざるを得ないなど、その影響はとても大きいものでした。マスクを着用し校庭で遊んでいる姿、窓を開け換気しているため中には上着を着ながら学習をしている姿、皆が前を向いて黙々と給食を食べている姿を見ると、学校生活のすべてにおいて「あいてますか」を守って生活をしている子どもたちは、本当によく頑張っていると思います。一日も早い収束を願うばかりです。2月は節分がありますが、外に出て行ってほしいのは鬼でなく新型コロナウイルスです。

令和2年度も残り2か月、まとめの時期となります。6年生は3月19日に卒業を迎えます。昨年度の卒業証書授与式は、一斉臨時休業の中、二俣川小学校をはじめ多くの学校が卒業生と教職員のみという異例のかたちで実施しました。今年度については、感染症拡大防止の対策をとりながら、卒業生、保護者各家庭1名、教職員での実施を計画しています。子どもたちの成長を見守り続けてくださった地域の皆様には今年度も参列を見合わせていただくことになり大変心苦しく思いますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



「給食週間」(1月18日～1月22日)

学校では毎年「給食に感謝の気持ちをもったり、健康によい食べ方を考えたりして、楽しい給食を実践しようとする態度を養う」ために給食週間を設けています。この間、①給食委員会による給食集会(放送)、②各学級で給食のめあてを決める、③調理スタッフの皆さんに感謝の寄せ書きを作る、④毎日の給食の中から献立を1つ選び、完食した学級にペロリカードを渡すなどの活動に取り組みました。私も1月18日の朝会で給食に関する話をしました。給食にぶどうパンが出ますが、あげパンなど人気のあるパンに比べ残る量が多いのです。そこで、ぶどうパンに入っているレーズンの栄養や効果などについて紹介し、1月20日に出るので、自分なりにチャレンジしてみようと話しました。結果は次の写真の通りで、多くの子どもたちがしっかりと食べてくれました。給食週間中はほかの献立もとてもよく食べてくれました。やはり残りが少ないと栄養教諭をはじめ調理スタッフの皆さんもとても喜んでくれます。体をつくる大切な給食です。1月25日の朝会では、新型コロナウイルスをはじめ、風邪やインフルエンザなどに負けない体をつくるためにも、これからも自分なりにしっかりと給食を食べていこうと話しました。



昨年10月29日の残菜率は5.7%。1月20日は3.3%に減りました。がんばりました。

1月22日の麻婆豆腐の残菜率はなんと0.2%。缶の底が見えます。すごいです。同じ日に出たぼんかんは残菜率11.3%。少し残念な結果に。むくのが苦手？